

『剣道を通して学んだこと』

熊本県

帯山少年剣友会

小学6年生

森 崎 詩 温

僕が剣道を始めたきっかけは、父が剣道をやっていてカッコいいな、僕も防具をつけて練習したい試合に出てみたいと思ったからです。そして一年生から始めました。

剣道を始めてから、試合に勝つことだけでなくいろいろなことを教えてもらいました。先生方は、礼儀、あいさつなどたくさんを教えてくださいました。学んだことや変わったこともあります。一つ目は、大勢の前で大きな声を出して、発表したりあいさつが出来るようになったことです。剣道を始める前は、人前で堂々と発表したり、あいさつする事は苦手でしたが、学校では司会をしたり、キャプテンになったりなど苦手なことが得意なことになりました。また、運動会では、自信を持ち応援団にも立候補し最後までやりとげることができました。二つ目は、努力の大切さです。それは、試合に出させてもらえるようになってから感じました。僕は、たくさんの試合でメダルを取ることができました。毎日素振りを続ければ、必ず結果はついてくることを学びました。三つ目は、チームワークです。厳しい練習を一緒に乗り越えてきた仲間はとても大切です。そして力をあたえてくれます。では、なぜこれらが得られたか。それは「毎日の努力」だと僕は思います。「毎日の努力」とは、練習は絶対に休まず、素振りを毎日必ずやることです。しかし、一年中さぼらずに二つともやりこなすことはとても難しいと思います。「きついなあ」「遊びたいなあ」と思って休みたくなります。さぼるとせっかく積み重ねてきた努力が無駄になると思います。僕は、今まで何度も毎日の素振りが続かなかったこともありました。しかし、練習は五年間一度も休んだことはありません。

六年生の夏、日本武道館で行われた全国大会に出場しました。初めて日本武道館に行きました。しかし、緊張することはありませんでした。それは、毎日千本素振り続けていたからです。結果は、二回戦敗退でした。目標の三回戦突破には惜しくも届きませんでした。しかしぼくは、全勝することができました。やはり、毎日素振りを続ければ結果は必ずついてくると思います。

ぼくの将来の夢は、パイロットです。パイロットは人の命を預かるので剣道で養った集中力、責任感をこれからも生かしていきたいです。そして、剣道を通して学んだ根性や友情、努力の大切さ、先生や仲間、家族への感謝を忘れず僕は、キャプテンとして自信と誇りを持って文武両道で努力を続けていきたいです。